



RAKUNO GAKUEN UNIVERSITY

酪農学園大学

出会い

No. **82** 2020. 4. 4

キリスト教委員会



〔広報提供〕

「たとえ、山を動かすほどの完全な信仰を持てようとも、愛がなければ、無に等しい。」

(コリントの信徒への手紙一13章2節b)

「昔取った杵柄、その先にあった今」

獣医学類6年 獣医倫理学研究室 長沼 拳

「初志修正のすゝめ」

獣医学類 生体機能分野 獣医薬理学ユニット 寺岡 宏樹

ヒーローなんていないんだ！

環境共生学類 哲学・人文諸科学研究室 小林 敬

「昔取った杵柄、その先にあった今」



獣医学類6年 獣医倫理学研究室 長沼 拳

過去の体験が、ふと思わぬ所で繋がる事がある。特に大学生活ではそれを強く

実感することがあった。

中学まで9年ほど競泳を続けていた。小1から始め、小4からはクラブチームの選手育成コースに所属することとなった。日常は殆ど学校と競泳の二色に染まっており、それが当たり前だった。しかしながら、この競技生活の中で特に目立った成績は残せず、せいぜい地区大会予選をぎりぎり通過するレベルに留まった。そんな中で9年も続けてしまったのは辞めるきっかけが無かったからであり、惰性だった。当時は何が楽しかったのか分からなかったし、現在思い返してもそれは同じだ。高校進学タイミングで辞めた時には、日常を構成していた一部分が欠落する事に一抹不安を感じたものの、それ以上に開放感があり、今後二度とやるまいとの思いが自然と浮かんだ。この時初めて競泳が嫌いだったと知った。

ところが、皮肉にも今でもプールとは付き合いがある。というのも、大学入学から三年目にして自転車競技（ロードレース）を始めたことがその引き金となった。これだけでは競泳と

の関連性について「？」が浮上する事は必至だが、競技を始めるに当たり色々指図してくれた知人がトライアスロンをやっていた事から、競泳経験がある自分にそれを勧めてきたのだ。

トライアスロンは、スイム、バイク（自転車）、ランの3パートから構成され、この3種目を一度に順に連続して行う競技である。五輪種目にもなっている規格は、スイム1.5km、バイク40km、ラン10km。最も距離が長いものはスイム3.9km、バイク180km、ラン42.195km。さらに、この2つをそれぞれハーフサイズにしたものがあり、一口にトライアスロンと言っても大きく分けると4種類ある。

スイムは競技経験があり、バイクは自転車競技をメインに据える以上練習としても利点がある様に思えた。残るランは、「走る」という行為自体が日常動作の延長線上にあるものだから何とかなるだろう、と楽観的に考えると、トライアスロンという競技自体にハードルは一切感じなかった。競泳を退いてから7年近くが経過して嫌悪感も程々に薄まっており、断る理由も特に無かったのでロードレースに並行してトライアスロンにも参加する事を決めた。

いざやってみると、バイクパート、

もといロードレースでの成績が振るった。初年度には初級者クラスではあるが優勝、競技開始から5ヶ月目の事だった。元々はこちらがメインのつもりではあったが、全く経験のない分野においていきなりある程度の活躍を見込めたことは驚きだった。一方のトライアスロンでも、競泳経験が功を奏してスイムを足を引っ張らない順位で終えることができ、続くバイクでアドバンテージを築くことで対応ができた。ランについては、順位を競う上では陸上経験が皆無だと悲惨そのものであり最も難儀したが、慣れてくると人並み程度には走れるようになった。かくして、以降は毎年何かしらの大会で入賞をし、ローカルレベルの大会であれば優勝争いに絡み得る程度にはアマチュア競技者として成長することができた。競技開始から4年が経過した今ではメダルやらトロフィーやらが部屋に著しく増えた。「ロードレースをメインにトライアスロンも」というスタンスで競技をしているつもりが、特に後者で結果を残すことが多いために周囲のイメージが自分の思うものと逆転していることは仄かに残念ではあるが、ただ徒に敗者的な日々を送っていた競泳時代とは違い、今は新たに日常にあって当たり前となった一面を享受できていると思う。

トライアスロンは単独走を基本とするため、駆け引き的な要素が殆どなく、単種目競技と比較して競い事としての面白さには劣る。また単独走である以上、常に自分のペースで走行できるため、比較的楽でもある。正直なところ、



これに対して真逆の特性をもつロードレースの方が競技としてのやりがいはいと大きいと感じる。しかし、思えばスイム、バイク、ランの3種目全てをできなければそもそもトライアスロンで入賞圏内で競える位置に至れないのも確かであり、競泳時代の下積みがあったからこそ、この競技で好成績を残せたと認めざるを得なかった。皮肉にも、あの詰まらない競泳時代があったからこそ今があるのだと言えるだろう。

結果的に競泳は自分に可能性を広げる助力となった訳だが、9年はさすがに時間を費やし過ぎたという思いを禁じ得ない。素直に無駄だったと思う。こんな事なら陸上経験が欲しかったし、それ以外にもやりたい事はあった。しかし、それも含めて物事の判断に際して参考になる経験だったと今では思う。結果が出ないのであれば、徒に固執するよりは見切りをつけるべきだし、惰性に流されて思考を麻痺させるよりは可能性を模索するべきである。また自分が活躍できる土俵を選ぶことも重要である。巡り巡ってそんな教示を得た。敗者と勝者の両側面を身をもって経験したが、どうせ何かやるなら、結果が出る方がいい感じに楽しくやれるのである。

「初志修正のすゝめ」



獣医学類 生体機能分野 獣医薬理学ユニット 寺岡 宏樹

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。道外から来られた方は、桜どころか雪がちらつき
 そうな、凜とした空気に驚かされている
 かもしれません。ご心配なく。6月ごろから北海道で一番良いとされる季節がすぐ訪れます。

もう何十年も前のこと。自分が大学に入学したての頃、地学の教授が、「勉強はそんなにやらなくていいから、とにかく元気でやってくれ。」と講義のはじめに言われたのをよく覚えています。優しい先生でした。大学でも5月病が問題になっていた時代でした。逆に入学したての時期、多くの方は空回りしがちかもしれません。競馬で言う「入れ込みすぎ」というやつです。ゴールまでは持ちません。

今後、あるいはすでに、「入学したからにはそれぞれの(夢)に向かって頑張りましょう! たとえ必ずしも実現しなくても、夢に向かって行った努力は決して裏切らない!!」などという講話を受けたかもしれません。こうしたアドバイスはもちろん正しいのですが、気を付けるべき点もあるように思います。だいたい前のことですが、運転中のラジオのニュースで、「最近、すぐやめる新入社員が増加している」という問題に関する調査結果を聴きました。辞めやすい新入社員は意外にも、「夢を持って入社した」という項目と相関関係があったそうです。今となっ

ては出典もわからないし、他の調査結果との比較もしていません。でも、確かにこうした側面があるような気がしています。夢を追い求めて頑張りに頑張り抜いたのに、たどり着いた先がもし自分の想像と異なるものであったらどうでしょうか? 「こんなはずじゃなかった。自分の選択は間違っていた!」 そのように落胆したりしないでしょうか? 夢に対する思い入れが強いほど、それに向けた努力を積み重ねるほど、失望が強くなるのでしょうか? 会社でも大学でも、なにかしら夢に描いたとおりではないことがあるはずですが、でも、想像してみてください。歴史上のどんな偉人でも、選択したことすべてに大満足という、必勝無敗の人生を歩んだ人はいないはずですが、どこか思い通りでないことがあったはずですが。

やはり、目標を修正することが重要なのではないのでしょうか。やけになってすべてを台無しにしてしまうのは最悪です。誰もそうなりたくはありません。自分は「定位」することを自らの戒めとしています。定位とは、自分のおかれた状況を正しく判断すること」です。言うまでもなく、どんな物事でも状況はずっと変化しています。その時は正しい判断でも、時間とともに必ずしも適切ではなくなってしまう事ってこれまでなかったですか? ましてや、その判断の拠りどころとなった情報は誰も限られているはずですが。人もうらやむ成功者も皆、「失望に打ちのめされた」ことがたくさん

あったはずなのです。やはり、状況に応じて目標を修正していくことが大事なのではないでしょうか。それとも、目標達成のための手段を修正することが必要ではないでしょうか。期待していたことといくつか違うことがあるかもしれませんが、むしろあって当然。逆に思いがけない新たな夢もみつかるはずです。

「定位」することは日々の生活でも重要です。本来、だれでも無意識のうちに「定位」しているはずですが、ただ、しっかりと意識しなければ状況に流されてしまうことがよくあるのです。自分は、勉強やその他をすべてひっくるめた予定表を作ることを学生諸君に勧めています。勉強だけの予定なんて誰が守れますか？ 他にもやらなければならないことがたくさんあるのですから、そんな予定はもともと現実離れしているのです（状況判断の誤り）。どうしてもやりたいことは可能な限り予定化して、実現しましょう。よく、計画通りなんてできるわけがないから、立てるのが嫌だ、無駄だという方がいます。当然です。こういう自分などは予定どおりにすべてできたことなんて生涯一度もありません。それも、たった一日の予定でさえも。これは何も自分のような意思の弱い「困ったちゃん」だからではなさそうです。プロ野球で13年連続ホームラン王を獲得した、伝説の名選手である王貞治さんは努力家で有名でした。その彼でも、現役時代に「目標通りにできるなんてことはないから、わざと高めの目標を立てる」と言っていました。計画は役に立つから立てるのです。自分の役立つように立てるべきなのです。できなかつたら、計画を修正すればよいのです。それがその時の状況を把握した、正しい判断なのです。思いがけない急用だってよく降ってわいてくるのではないですか。

勘違いしてほしくないのですが、自分は何も頑張ることだけを説いているわけではありません。流されるだけ流されて、時間を無駄に過ごしてしまうことを戒めているだけです。思いっきり楽しんでください。わき目もふらずただ目的だけのために人生を過ごした人なんているわけがありません。ただ、限りある時間を考えて過ごしてほしいだけです。そして、時間を作るために眠る時間を削ったりすることは避けてほしいのです。したいことを我慢することはありません。したいこともどんどん予定に入れればよいのです。これは失敗を積み重ねてしまった過去の自分に言ってあげたい忠告でもあります。

最後に、せっかく本学に来たのですから、北海道も十分楽しんでください。北海道は自然にあふれています（写真）。本学は野幌森林公園という大規模な原始林と接しています。すぐ行ける大自然です。でも何より、規則正しい生活をして十分な睡眠をとり、三食しっかり食べてください。何事によらず、健康こそが最大の武器であり、極意です。ご両親から授かった、これから何十年も使う大切な、大切な体なのです。



藻散布沼近くの道道123号線の側路から撮影。同じ場所で他にも4羽発見。道東では道路わきでも特別天然記念物のタンチョウに遭えます。

ヒーローなんていないんだ！



環境共生学類 哲学・人文諸科学研究室 小林 敬（けい）

いま大学で学んでいる世代の皆さんは十～十五年前には、当然、小学生だったわけだが、その頃きつと、男の子も女の子も、マンガやゲームやその他いろんなコンテンツの中で、ヒーローものに夢中になっていた人は、少なくともないだろうね。友達と競ってアイテム集めに夢中になったりもしたことだろう。

そう、ヒーローって、カッコイイよね！ 正義の味方として悪をバツバツとなぎ倒し、僕たちをスカッとさせてくれる。みんなもきつと、学校や塾や家庭やその他いろんな場所で、困ったことに出会うたびに「ああ、こんな時、ヒーローが助けに来てくれたら…」なんて夢想したりもしたことだろう。

でも君たちが中学生・高校生と成長するにつれて、そういうヒーローが存在しない現実の厳しさにいやというほど直面させられてきたことだろう。そして気づいたことだろうね。「ヒーローなんていないんだ。僕たち私たち一人ひとり、弱いなりに手を取り合って、このつらい現実の中を、生きていくしかないんだ」と。

そう、この世に、「ヒーロー」なんていない、それでいいんだ！ 困難が百パーセント解決する、なんてことはありえないんだ、でも、それでいいんだ！ 僕たち一人ひとりが手を取り

合って、その困難に、泣きながらも、ほやきあいながらも、一歩ずつ、前に向かって歩いて行くしかないんだ…

「馬鹿にするなよ、コバヤシのおっさん！ 俺たちはもうガキじゃねえ！ てめえにいわれなくなつて、そんなこと、とっくにわかってらあ」ですって？

ごめんね！ 余計なこと言ったりして… わかっている人は、それで充分、ほくはただ引込むだけだ。

でもね、悲しい話だけど、それが「わかってない」オトナって、結構少ないのさ！ いや、ヒーローを「求める」だけならまだましだ。「俺様こそがヒーローだ！」なんて威張りくさっている馬鹿が、世間にはどれほどあふれかえていることか！

歴史の中でこのような「ヒーロー」たちは、正義の味方どころか、多くの人の血と涙を奪ってきたものだ。ヒトラーだって軍事クーデターかなんかで権力を奪ったわけじゃない。「困難を解決してくれるヒーロー」を夢想する、たくさんの民衆の熱狂的な支持を得て、選挙で勝利して、民主主義のルールに則って、正々堂々と権力の座についたってわけだ（その後は負けて自殺するまで、二度と選挙なんてしなかったけれども…）

子供がヒーローを求めるのはかわいい。でもオトナがヒーローを求めるのはこわい。

新約聖書を読めば、イエスだって、この意味でのヒーローを民衆から期待

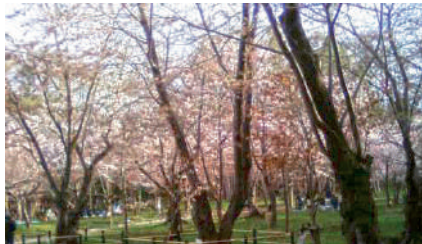
され、担ぎ上げられようとしていたことがよくわかる。でもイエスは、そんなヒーローになることなんて空しい、と人々を戒めた。民衆は絶望し、特に弟子のユダは自分を失望させた師匠を金で売り渡し…そう、これが「十字架への道行き」なんだ。イエスは人々の罵りの中を、苦しみつつ死なれた。でも物語はそこでは終わらない。死んだはずのイエスは三日目に死者の中から復活し…、そう「キリスト教」は、十字架で死んだだけの「イエス教」じゃない！ それだと単なる「ヒーローストーリー」にしか過ぎない！ そうじゃない！ 互いに相手を我が身のように大切に愛し合うところだけに宿る、生死の境をも超越する強い霊的な神秘の力によって、「三日目に死人の中から復活し、天に昇って、全能の父である神の右に座って、いつか世界の終末の日には、再び降りてきて、生存者と死者を裁かれる、永遠の主（ご主人さま！）キリスト（救い主）としてのイエス」を信じる「キリスト教」であって、断じて「イエス教」ではない！ もし「イエス教」だったら、それは「ヒトラー教」とも「スターリン教」とも「織田信長教」とも「ダースベーダー教」とも大して変わりはない。「キリスト教」はあくまでも「キリスト教」であって、断じて「イエス教」なんかじゃないんだ。ちょうど「仏教」が単なる「釈迦教」じゃないのと全く同様に…

残念ながら教会に行って洗礼を受けているはずのクリスチャンの中にも、こういう「ヒーローとしてのイエス教」を求める困った人も少なくない。いや、悲しい話だが、牧師先生の中にだって、こういう「イエス教」にどっぷりつかって「ヒーローを追っかけ続けている」

ガキみたいなひと、少なからずいたりする！

（カトリック系高校の卒業生諸君！ さすがに神父様の中には、こんな「イエス教」を語る人は、全世界にひとりもないから、安心してほしい！ もしそんな神父がいれば、直ちにクビになる～破門される～のが鉄のルールだ。もしこれが八百年前なら、そんな奴は火あぶりで焼き殺されていくくらいだもん。「火あぶり大好き！」なんて言いたいわけじゃない。「それくらい厳しいものだ」という意味だ……え？ ばれた？ そう、僕カトリック！ 霊名はアウグスチノ！ 実は僕はもとプロテスタントだったんだけど、そういう「ヒーローとしてのイエス教」を唱える馬鹿どもと大げんかのあげく、プロテスタント教会に対してプロテスタ～抗議～して飛び出して、カトリックに変わったんだ！）

…ちょっとしゃべりすぎて疲れた。とにかく、ヒーローなんていないんだ、求めちゃいけないんだ。そんなことしても、みんなが不幸になって、たくさんの人が死ぬだけなんだ。ヒーローはいない。世界のどこにもいない。ヒーローでもヒロインでもない、弱い僕たち一人一人が、互にかばい合い愛し合いながら、前を向いて死ぬまでとほとほと歩き続けるしかないんだ。そのつらい道をずっと一緒に歩いてくれる、「だれか」の面影を見つめながら…





〔広報提供〕

雪の中でも元気いっぱいのゴールデンレトリバー（クイーン）と黒ラブ（キナコとアズキ）を散歩させている学生たち。北海道の大自然と動物が大好き

な本学の学生さんの特徴をよく表した日常の一コマといえます。おそらく獣医保健看護学類の学生さんたちが犬のお世話をしているところでしょう。

あ と が き

3つの新入生へのメッセージが寄せられました。新しい生活をはじめの皆様、自分に限界を設けずよく学びよく遊んでください。本学はキリスト教主

義（プロテスタント）の立場をとっておりますが、もちろん思想信条は自由です。

（Y. T.）

酪農学園大学キリスト教委員会
〒069-8501 北海道江別市文京台緑町582番地
Tel. 011-386-1111（代表）



酪農学園大学は、2014年度（公財）日本高等教育評価機構による大学機能別認定評価において大学評価基準に適合していると認定されました。



（酪農学園大学公式サイト）